

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月17日

事業所名 ぱっそ音羽町教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	改善目標、工夫してい点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	子どもが動きやすく安全にできる活動を提供しています。	
	2	職員の配置数は適切である	5	1	配置基準は満たしています。	子どもの特性や発達に合わせた人員を配置しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	絵カードなど視覚でわかりやすいように表示し、情報・指示を伝えています。	新しく表示したものは、その都度、子供に説明しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	療育前後、清掃・消毒を徹底しています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		毎日の記録、及び職員間で子どもの様子の情報交換をし、共通理解をしていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		改善のための意見を出し合い、素早く対応していききたいと思います。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	ホームページで公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1		監査で指導していただいた事をすぐ改善、実行していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	より良い療育に向け、専門家の先生の意見を聞いています。	職員全員で行う研修の時間を確保していききたいと思います。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	療育記録やニーズに合わせ作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	独自のシステムを作成し、ソフトとして使用しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び以降支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子ども支援に必要な項目で適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	5	1	お子さん、保護者の方のニーズや状況に応じて支援内容を検討し、設定しています。	保護者の方にわかりやすく説明をしていきます。
	13	児童発達計画に沿った支援が行われている	6	0	一人ひとりの支援計画に合わせてサポートをしています。	支援計画は、スタッフ全員で確認をし、共通理解をするようにしています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	複数のスタッフが担当し意見を出しています。	子どもの育ちに合った楽しいプログラムを計画していきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	支援を積み重ねていく上で、活動に飽きることのないよう工夫しています。	様々な経験ができるようにしています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	6	0	個別療育と集団療育を合わせることで適切に支援できるようにしています。	集団と個別の子どもの表れを、スタッフ一同、共通理解し、支援計画に生かせるようにしています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	朝の打合せを行い、事務連絡・注意事項・支援ポイントなどを話しあっています。	休みのスタッフにも、もれなく伝わるようノートを活用しチェックできるようにしていきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1		支援に気づいたこと保護者からの情報などを伝え合っていきます。

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	毎日、支援記録を残しています。	次の療育時につなげていくように努力
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0		6ヵ月ごとに見直しています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1		通園している保育園・こども園・幼稚園の先生方に療育を見学してもらい理解し助言出来るように努力していきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/	現在、医療ケアが必要なお子さんのご利用はありません。	/
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/	現在、医療ケアが必要なお子さんのご利用はありません。	/
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1		保護者の方からの希望に応じ、移行支援計画書を作成していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	1		通園している保育園、こども園、幼稚園の活動の様子を保護者から聞き、心配事への助言を行っていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	5		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	療育終了後、子どもの姿を保護者に伝えています。	連絡帳・メールなども活用し、子どもの姿へのアドバイスが的確にできるように努力していきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	1	研修の案内をし希望者は参加できるようにしています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0		契約時に、わかりやすく説明していきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		支援計画を説明するときに、現在の表れを詳しく説明し、今後の計画についての取り組みを丁寧に説明していきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	日頃から連絡ノートや電話での相談に対応しています。	送迎時の相談については、後日、面談をすることを提案し、ゆっくりと対応できるようにしています。面談の対応には迅速に対応するように努力していきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1		保護者同志で話をする機会を作っていくようにします。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	すぐに対応できるようにしていきます。	専門家の先生の面談を行い、適切なアドバイスをいただく機会を設けて、日頃の療育につなげていくように努力します。

	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0		ホームページで療育日誌を掲載していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	書類は施錠管理し、外への持ち出しを厳禁として、取扱いには十分注意しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	視覚的に提示していきます。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4		
非常時の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	スタッフで共通理解しています。不審訓練を行っています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	毎月・火災や地震の避難訓練を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	保護者の方から得た情報を職員全員で共有しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	おやつ等について、保護者の方に連絡をとっています。	必要な時に、指示書を確認させていただいています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	ヒヤリハットの報告があった場合には、すぐに対応策を話し合い、早急に対応し、共通理解をしていきます。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	定期的に研修をしています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	重要事項で説明し、同意を得ています。	